



公共の仕事

高市首相の「積極財政」大企業支援と軍事費へのバラマキによる財政悪化の懸念が円安をよび、輸入物価を押し上げ物価高騰に拍車がかかっています。国民と中小企業の暮らしを守るまともな対策もない高市政権のもと、住民の命と暮らしを守る地方自治体の役割がますます問われる中で、取手市議会は9月2日開会されます。

何よりも命と暮らしを守る政治に

市政・市財政をゆがめる／住民合意なき大型開発

9月市議会は2025年度の決算を審査する議会です。

日本共産党市議団は、取手市の税金の使い方が市民生活にどう反映されているか、決算審査に臨みます。

取手市は、取手駅西口や桑原開発など2大開発優先の市政運営で、市民の要望を後回しにしてき

ました。

西口開発は、地権者の合意も図れず、再開発事業からの地権者の離脱を招き、わずか6人に減少。また、市民に説明もなく合意もない、再開発ビルへの巨額の税金投入を予定する図書館等複合公共施設整備に突き進んでいます。

公共の役割を低下させる／職員非正規化と民営化政策



ウェルネスプラザにニチガスの冠がつけられたとりでウェルネスプラザ

公共施設運営と利潤を民間企業まかせの指定管理者制度、社会教育施設など企業の宣伝に活用させるネーミングライツ導入。職員不足の常態化にもかかわらず会計年度職員（非正規職員）で補填する等が問われています。

防災まちづくりで／安心して住み続けられる取手を

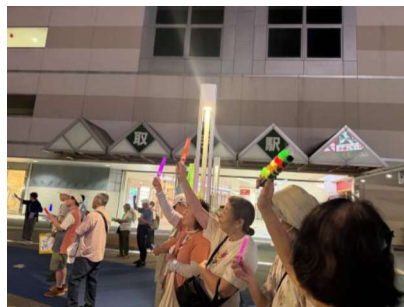
熊本県や千葉県地震や洪水などが身に置き換えれば、取手市の防災対策は喫緊の課題です。豪雨による道路冠水と家屋への浸水、突然の大地震、日頃からの災害対

策の強化と災害に強い街づくりが公共の大事な役割です。

市民が安心して住み続けられる暮らし最優先の市政に全力を尽くします。

2026年 取手市民アンケート実施中

- 日本共産党は、災害から命と財産を守る対策、暮らし・福祉・教育、まちづくりなど、皆様のご意見・要望を広くお伺いし、市・県・国と関係機関に届け、その実現に力を尽くしています。
- 皆様のご意見をお寄せ下さい。アンケートは、お宅に届いた用紙を活用して頂くかこちらのQRコードからお答えください。



ペンライトを掲げコールする人々。8月19日、取手駅西口アクション

8月19日夜、取手駅西口で、「強権政治に声を上げる！主権者は私たち！」を掲げた全国19日行動の一環として「戦争させない・9条壊すな！総がかり取手行動実行委員会」主催で集会が開かれました。60名超の市民が楽器やメガフォンのフラカートを手に平和を訴えました。ペンライトやハート型バルーンなど多様な光物を掲げ、「戦争反対」「憲法9条守れ」とコールし、「デモカレンダールを見ました」との若い世代の参加や、外国人男性がスマホで撮影する場面も見られ、最後



「戦争反対」「憲法守れ」とコールする人々。8月19日、国会正門前

にアピールを採択。この行動は、同日夕方の国会正門前大行動（参加者1万5千人と連動し行われ、国会前から地方都市まで、規模は様々ですが、同じ主張を掲げる草の根の行動は、全都道府県280カ所以上に広がりました。



戦争国家への道許さず

平和を守ります 日本共産党

戦後81年、今年も市議団そろって8月15日終戦の日市内に回り街頭から平和への訴えを行いました。合わせて、熊本地震・千葉豪雨で被災された皆様に心からのお見舞いを述べました。

高市政権は、殺傷能力のある武器輸出を認めることを決定し、非核三原則の見直しを示唆するなど戦争ができる国

作りに突き進んでいます。

戦争の反省に立ち制定された日本国憲法では戦争放棄を明記しています。このことは、世界のどの国にも知られており、日本は戦後「平和国家」としての信用・信頼を世界から得てきました。平和か戦争か、その大きな分岐点に立たされる今、国会前をはじめ全国各地で、若者はじめ世代を超えたデモ・集会がひろがっています。

「平和は自然に与えられるものではありません。国民の不断の努力で守っていきましょう」と党議員団は、道行く人々に呼びかけました。

日本共産党は先頭に立って反戦平和を訴え続けます。



8月15日の終戦記念日、市内各地で街頭から訴える（左から）遠山・本田・加増議員

9月定例議会

防災・農業・まちづくり・環境問題で質問

日本共産党議員一般質問 質問事項と要旨

加増みつ子議員



① 取手市 2 大開発

② 空き家対策について、

西口駅前再開発事業、桑原開発ともに行き詰まった。見通しのない事業の継続は停止。市民・住民（地権者）主体に計画を見直すこと。そのための市の責任と果たすべき役割を明確に。増え続ける市内空き家の令和 7 年実態調査を生かした市の対応策を質します。

遠山ちえ子議員



① 防災問題＝大雨時の藤代地域の

避難所開設など

② 公務・公共サービスの担い

手である自治体職員の増員・配置について

③ 農業支援策＝米価と食料の安定・安全供給について

④ 新川新堀問題＝環境保全・改善への工程表を明確に、搬入路とした埋め立て地の土壌調査で地元の不安解消を求める

本田かずなり議員



① 大地震時の防災について

- 1) 生活用水の確保
- 2) 大地震防災訓練＝●避難所開設訓練 ●発災対応型訓練
- 3) 災害関連死の防止
- 4) 木造建築の耐震化

② 環境への取組みについて

- 1) 本市の緑化について＝●緑化について ●街路樹について
- 2) 市民の意識向上＝●自然環境に対する意識 ●ごみ減量・分別に対する意識

傍聴にお出かけ下さい

令和 8 年第 3 回（9 月）取手市議会定例会会期日程（予定）

期 日	会 議	時 刻	議 事
9月2日 水	本会議	午前10時	開会・議案上程 一部議案質疑・討論・採決 請願上程・説明・質疑・付託、 一般質問
3日 木	本会議	午前10時	一般質問 pm本田かずなり議員
4日 金	本会議	午前10時	一般質問 pm遠山ちえ子議員
7日 月	本会議	午前10時	一般質問 pm加増みつ子議員
8日 火	本会議	午前10時	議案質疑・付託
9日 水	委員会	午前10時	総務文教常任委員会 （遠山議員）
10日 木	委員会	午前10時	福祉厚生常任委員会 （加増議員）
11日 金	委員会	午前10時	建設経済常任委員会 （本田議員）
14日 月	委員会	午前9時	一般会計予算・決算特別委員会（加増・本田議員）
15日 火	委員会	午前9時	一般会計予算・決算特別委員会（加増・本田議員）
16日 水	委員会	午後1時	一般会計予算・決算特別委員会（加増・本田議員）
17日 木	委員会	午前10時	議会運営委員会 （遠山議員）
18日 金	本会議	午前10時	委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

上記日程表の中に党議員の一般質問日時
表の委員会カッコ内の議員名は担当する日本共産党議員。

熊本地震支援募金へのご協力ありがとうございます御座います。

駅頭や地域で呼びかけ、8月15日までに日本共産党取手市委員会に寄せられた募金 23 万 2,017 円は 1 次分として中央委員会に届けました。中央委員会は、全国から寄せられた募金の第 1 次分を現地熊本に直接届けています。

引き続きご協力をお願い致します。 8 月末 日本共産党取手市委員会

【郵便振替】口座番号 00170 -9-140321 加入者氏名 日本共産党災害募金係
＊通信欄に「熊本地震・緊急募金」とご記入ください。手数料はご負担願います。

市民の声無視、 暴走する都市計画

遠藤俊夫

（取手駅前開発を考える会代表）

都市計画は「公共の福祉に寄与する」ことが目的で、手続きでは「住民の合意形成、住民参加の機会の拡大…情報公開…理由の開示等に尽くす」ことが求められている（「都市計画運用指針」）。だが、取手駅前の都市計画（再開発事業）はそんなことはお構いなしで、都市整備部の暴走が続いている。

①都市計画説明会では、複合公共施設（図書館づくり）の質問は「議題外」として答えず、②公聴会で遠藤・高木の二人が反対意見を述べているのに、「都市計画原案に対する意見で

はないため…意見の反映は行っていない」と都市計画審議会で虚偽報告、③情報開示請求に対しては、「黒塗り」や「文書不存在」と不誠実回答で市契約規則・入札公告に違反。

さらに重大なのは、教育機関である図書館の廃止・設置について教育委員会で正式決定をしていない（「地方教育行政の組織と運営に関する法律」違反）ことだ。

取手市の行政執行の在り方はこれでよいのか、地方自治の本旨が問われている。

「駅前開発と図書館づくり」学習会に御参加ください。

◇ 8 月 30 日（日）午後 2 時から 4 時 30 分まで

◇ 福祉交流センター多目的ホール（市役所前）

資料代 300 円

主 催：取手駅前開発を考える会

連絡先：比嘉恒雄 電話 090-6592-4525

安全・快適な街 皆さんと力合わせて

人命にかかわる交通安全施設の 整備予算拡充を



遠山ちえ子

市内を回っていると、道路標示や消えかかっている白線が目立っています。

写真の場所は、T 字路でトラック等の大型車の通行も少なくないため、横断歩道前の停止線の位置が通常よりも離れているのですが、白線が消えている為、横断歩道の手前で停止する事態を知り、即市役所安全安心課を通して取手警察署に要望しました。

4 月時点で 100 件の要望があり優先順に対応する

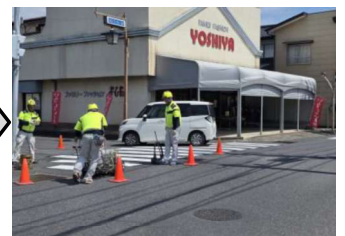
と…7 月猛暑の中、やっと改善されました。

路面に標示される白線は、歩行者と車の通行の安全に欠かせないもので道路交通法にも決められたものです。予算不足や人員不足で白線が消えたままの状態が続くことは許されません。

道路管理者は、人命にもかかわる交通安全対策に最大限尽くすことが求められます。



白線の消えた交差点



改善工作中的の交差点